

経営比較分析表（令和6年度決算）

香川県坂出市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド透訓	救 臨 感 へ 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
49,575	15,888	-	第2種該当	7：1

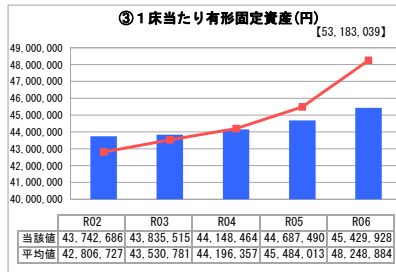
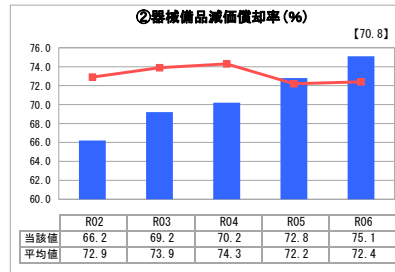
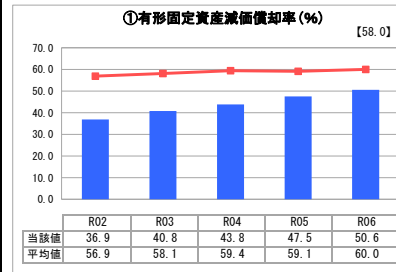
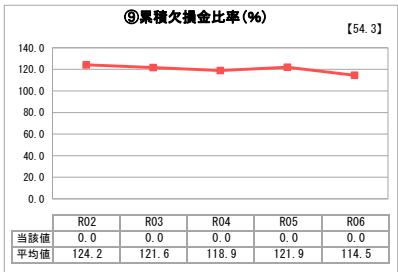
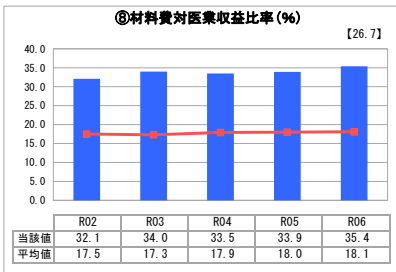
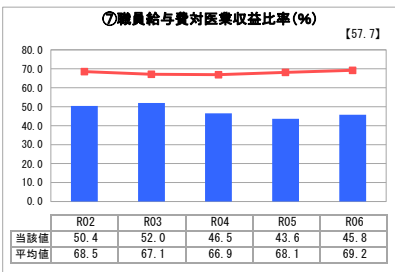
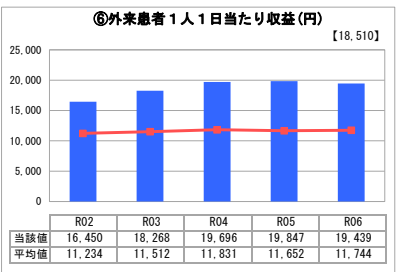
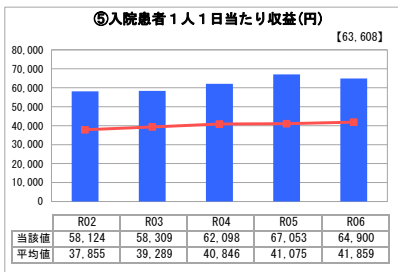
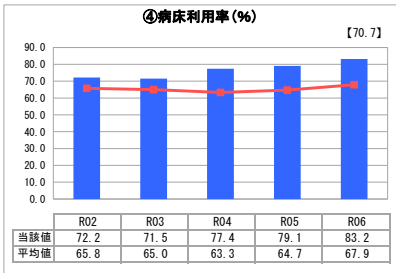
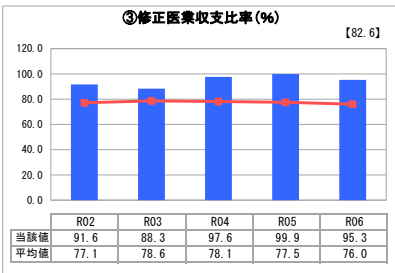
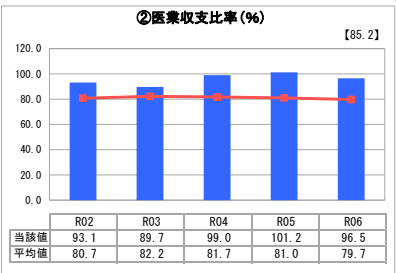
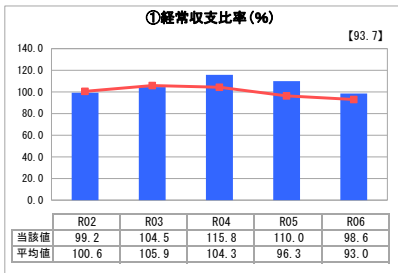
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
190	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	194
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
175	-	175

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
【	令和6年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

細分化・連携強化 （従来の可観・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

市内外の山間へき地・離島などで医療が受けにくい人たちのために医師を派遣しています。
また、救急告示病院・病院群輪番制病院として夜間・休日にも医療が受けられるような態勢を整えております。
なお、臨床研修病院として次代を担う医師の育成にも取り組んでいます。
令和6年度は、5階南病棟の無菌治療室を既存の個室2床から、個室4床、4人部屋2部屋とする、計10床の改築工事を行い、中核圏域における血液内科の拠点病院となるよう、患者受入体制の強化を図りました。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症にかかる補助金が全て無くなり①経常収支比率が悪化しました。
入院外来患者数、④病床利用率の増等により医業収益は増加しましたが、給与費、薬品費等の増加割合の方が大きく②医業収支比率は減少、⑦職員給与費対医業収益比率⑧材料費対医業収益比率は増加しました。しかし、経常黒字は維持しました。
化学療法等薬価の高い薬品を使用する患者数が多いため、⑤入院患者1人1日当たり収益および⑥外来患者1人1日当たり収益は類似病院平均と比較して高い水準になっています。

2. 老朽化の状況について

平成26年度に老朽化していた建物より新築移転しており、10年経過しましたが、依然として①有形固定資産減価償却率は類似病院平均値を下回っています。これは建物の減価償却が進むに伴い、増加していく見込みです。②器械備品減価償却率は増加傾向にあり、類似病院平均を上回りました。
器械備品の更新に伴い③1床当たり有形固定資産は増加傾向ですが、類似病院平均と比較すると増加率を抑えることができおり、平均より低い数値になっています。
これからも、器械備品の耐用年数を鑑み、優先順位および必要度を考慮し器械備品の更新を行っていきます。

全体総括

坂出市立病院改革プランに基づき導入した診療材料のベンチマーク分析を引き続き実施し、材料費の抑制に努めています。
令和6年度も全体的に他の類似病院に比べ、良好な数値であり、良質な医療を提供していくために、経営状態を良好に保っていく必要があります。
令和6年3月には「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営ガイドライン」に基づき経営強化プランを策定したところであり、経営理念である「市民が安心して暮らせ、心の支えとなる病院に」を実現するため、公立病院としての役割を再認識し、医療体制の確立と患者サービス向上に努めるとともに、経営の健全化を図りつつ、地域に密着した医療を推進するために努力していきます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。